

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

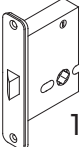
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

錠ケース	取付ねじ	部品交換要領書
HH-3K-11626  1 個	 錠ケース取り付け用：2 本	 1 枚

※部品が全てそろっていることを確認してください。

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー	マイナスドライバー
 ⊕ 1 本	 ⊖ 1 本

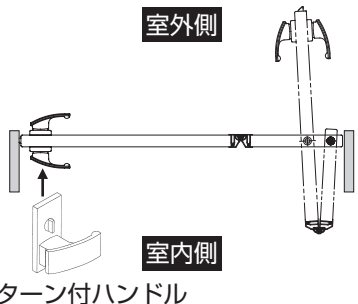
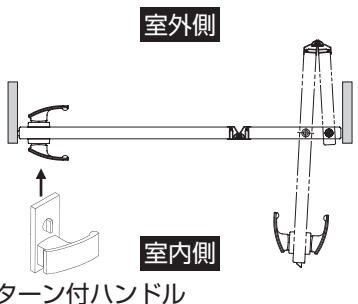
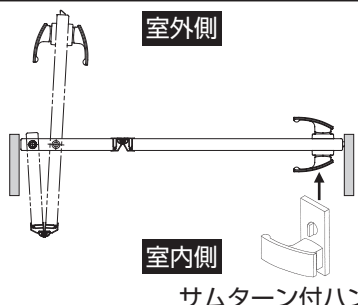
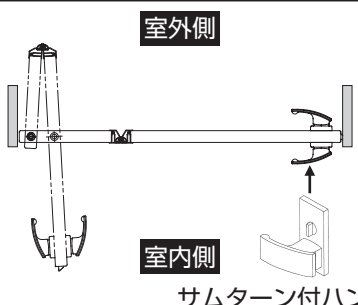
商品の開き方向と勝手

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

商品の開き方向と勝手について

※ドアの納まりと勝手の組合せは下図の通りになっています。この要領書では外開きと内開きを分けて説明します。

	外開き P.2 ~ P.5 ※室内側（サムターン側）から押して開く扉	内開き P.6 ~ P.10 ※室内側（サムターン側）から引いて開く扉
右勝手	 サムターン付ハンドル	 サムターン付ハンドル
左勝手	 サムターン付ハンドル	 サムターン付ハンドル

※部品の取りはずし方、取り付け方は2～10ページをご覧ください。

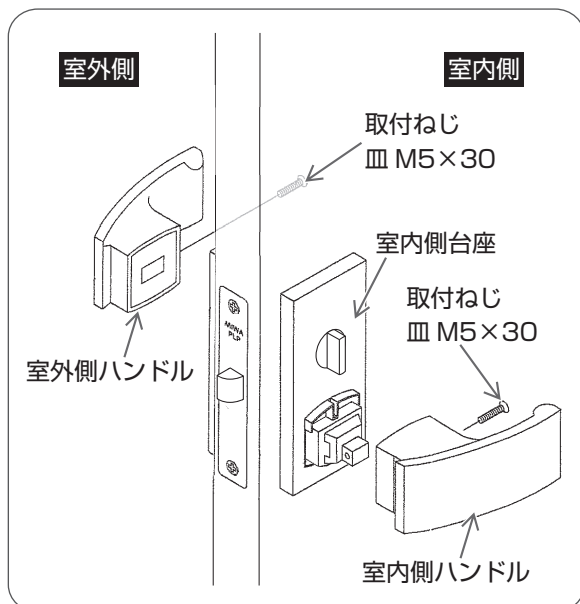
錠ケース

外開き部品の取りはずし方 1

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

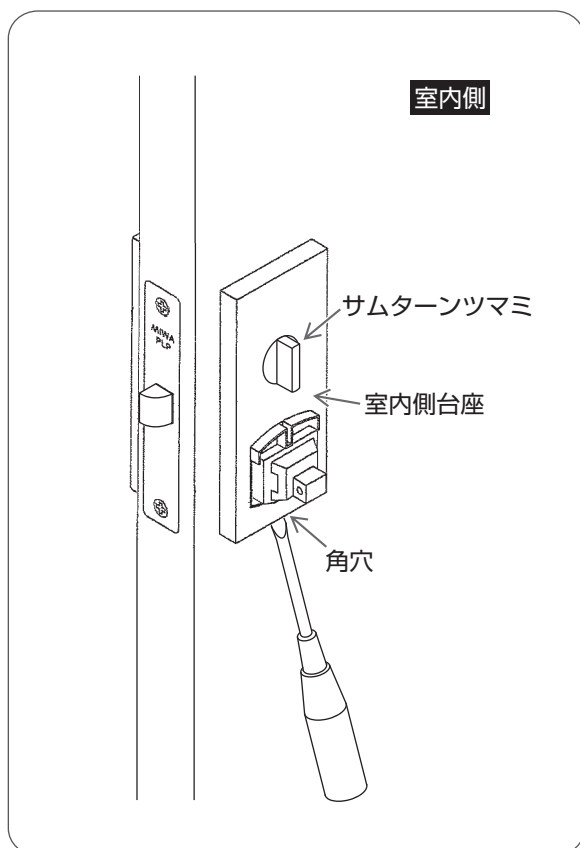
1 ハンドルの取りはずし



プラスドライバーで室外側および室内側ハンドルの取付ねじをはずし、室外側および室内側ハンドルをはずす。

※取りはずした室外側および室内側ハンドル、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

2 室内側台座の取りはずし



室内側よりマイナスドライバーを室内側台座下部の角穴に差し込み、室内側台座をはずす。

※取りはずした室内側台座は取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

※空錠の場合、サムターンツマミはありません。

※外開き部品の取り付け方は4～5ページをご覧ください。

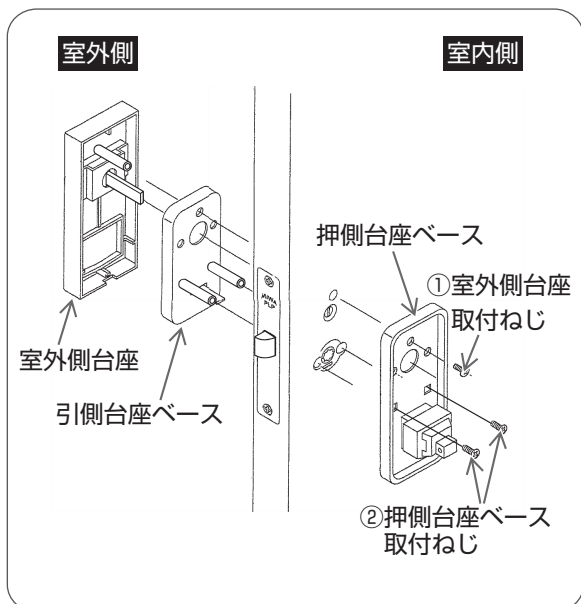
錠ケース

外開き部品の取りはずし方 2

お願い

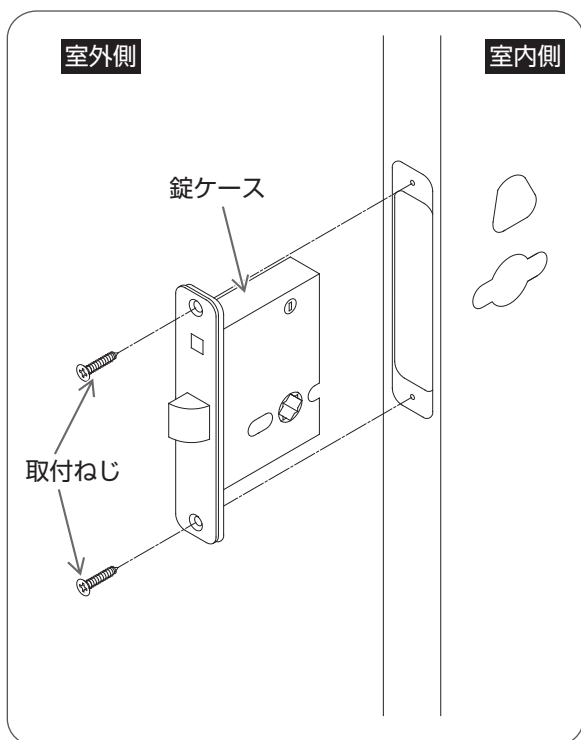
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

3 室外側台座および引側台座ベース・押側台座ベースの取りはずし



- ①室内側よりプラスドライバーで室外側台座取付ねじをはずし、室外側台座をはずす。
※取付ねじをはずすと、室外側台座がはずれます。落下にご注意ください。
※取りはずした室外側台座および取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。
- ②室内側よりプラスドライバーで押側台座ベース取付ねじをはずし、押側台座ベースおよび引側台座ベースをはずす。
※取付ねじをはずすと、引側台座ベースがはずれます。落下にご注意ください。
※取りはずした押側台座ベースおよび引側台座ベース、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

4 錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースをはずす。

※外開き部品の取り付け方は4～5ページをご覧ください。

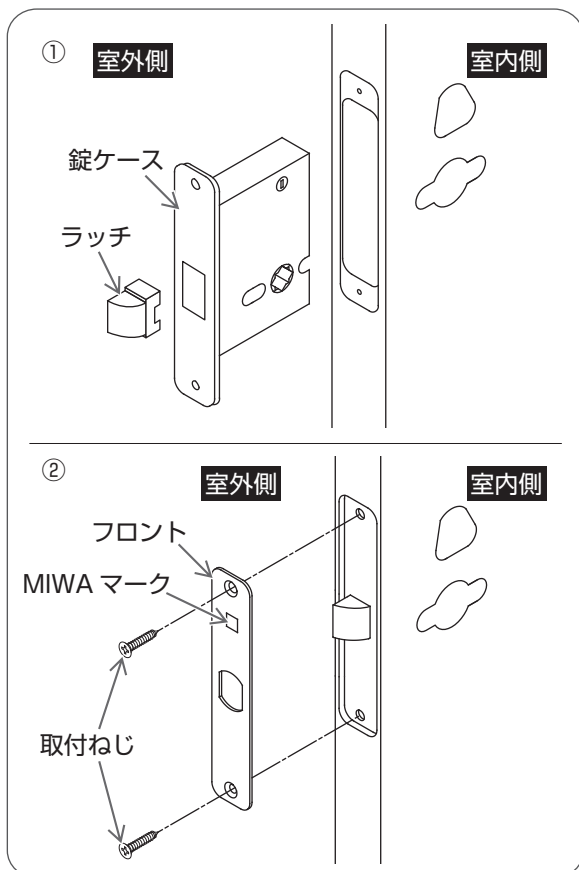
錠ケース

外開き部品の取り付け方 1

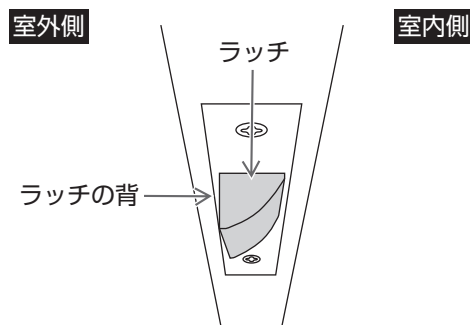
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 錠ケースの取り付け



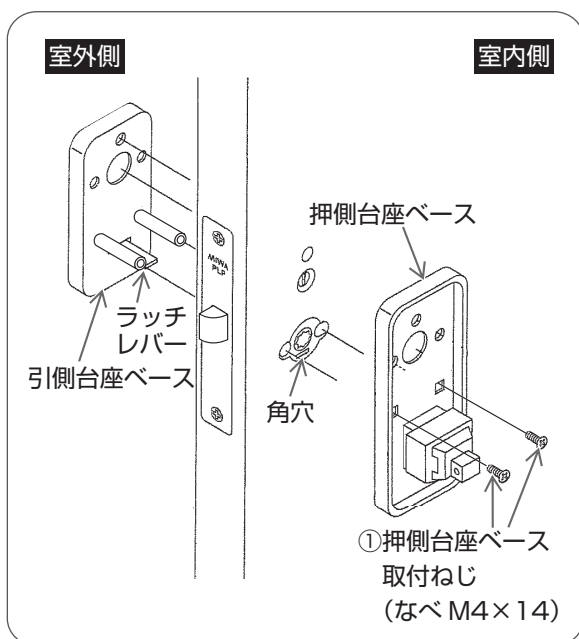
①錠ケースを取付穴に差し込み、ラッチの背(フラットの面)を室外側に向けて差し込む。



※上から見た図

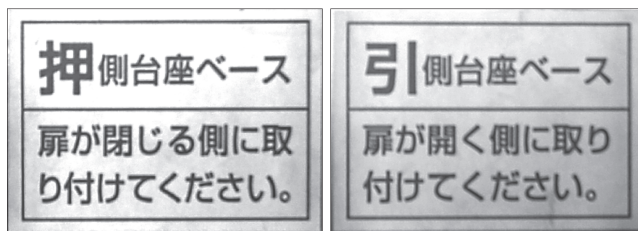
②フロントの MIWA マークが上側になるように合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

2 押側台座ベースおよび引側台座ベースの取り付け



室内側より押側台座ベース、室外側より引側台座ベースを錠ケースに差し込み、室内側よりプラスドライバーで押側台座ベース取付ねじをしめる。

※台座ベースにはそれぞれ押側および引側のシールが貼られています。確認のうえ取り付けしてください。



※差し込んだ際、引側台座ベースおよび押側台座ベース裏面のラッチレバーが、錠ケースの角穴に差し込まれるようにセットしてください。

※引側台座ベースおよび押側台座ベースはドアに対して平行に取り付けてください。

※外開き部品の取りはずし方は2～3ページをご覧ください。

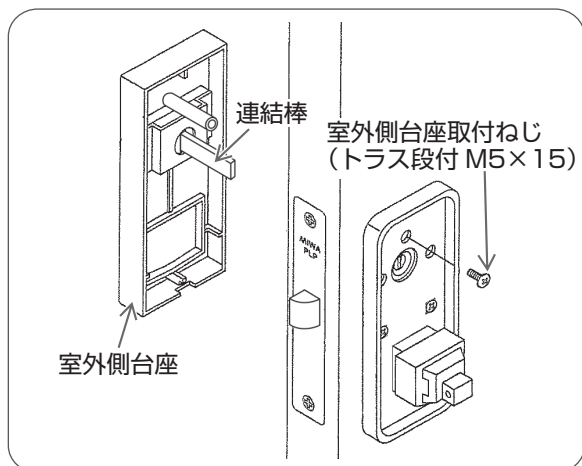
錠ケース

外開き部品の取り付け方 2

お願い

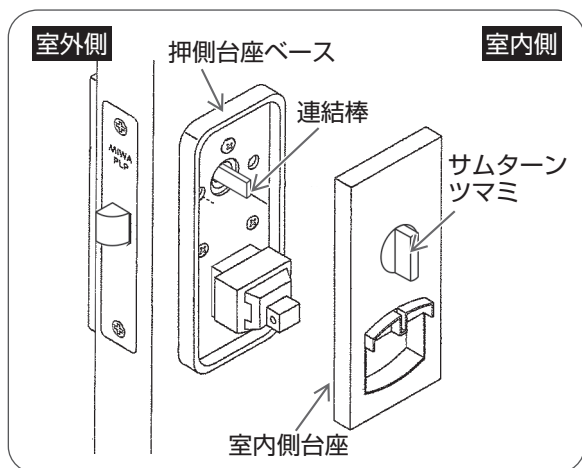
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

3 室外側台座の取り付け



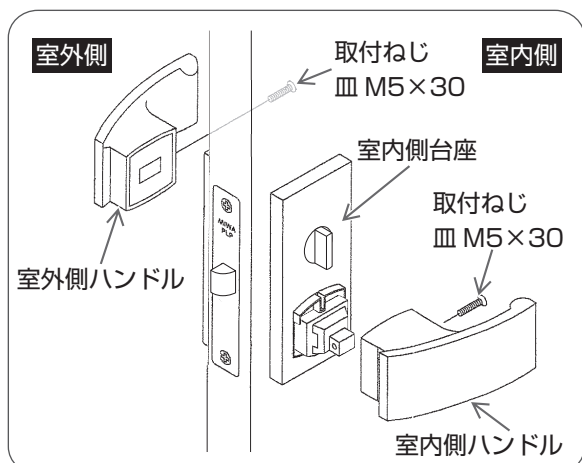
室外側より室外側台座の連結棒を縦にして錠ケースの縦溝に差し込みながら引側台座ベースに取り付け、室内側よりプラスドライバーで室外側台座取付ねじをしめる。

4 室内側台座の取り付け



室内側より室内側台座を押側台座ベースに取り付ける。
※室外側台座の連結棒にサムターンツマミ裏面の穴を合わせてください。
※サムターンツマミの動きを確認し、動きが重い場合は、室内側台座をマイナスドライバーではずし、取付ねじの締めつけを調整してください。
※空錠の場合、サムターンツマミはありません。

5 ハンドルの取り付け



室内側より室内側ハンドル、室外側より室外側ハンドルをそれぞれの台座に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

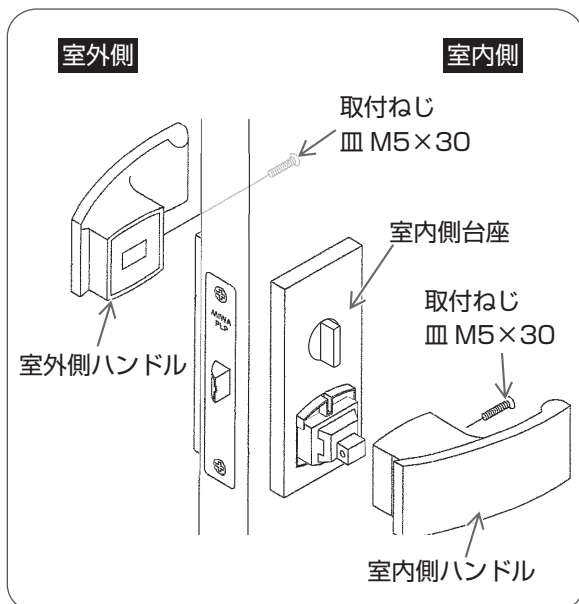
※外開き部品の取りはずし方は 2 ～ 3 ページをご覧ください。

内開き部品の取りはずし方 1

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

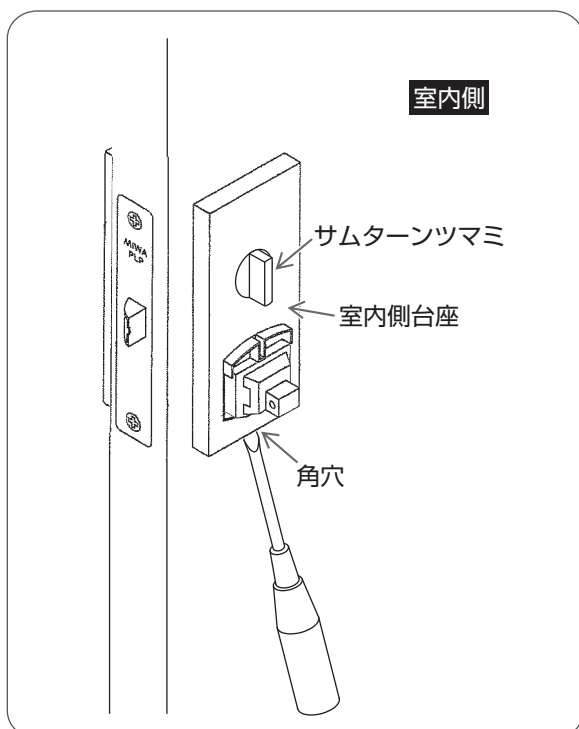
1 ハンドルの取りはずし



プラスドライバーで室外側および室内側ハンドルの取付ねじをはずし、室外側および室内側ハンドルをはずす。

※取りはずした室外側および室内側ハンドル、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

2 室内側台座の取りはずし



室内側よりマイナスドライバーを室内側台座下部の角穴に差し込み、室内側台座をはずす。

※取りはずした室内側台座は取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

※空錠の場合、サムターンツマミはありません。

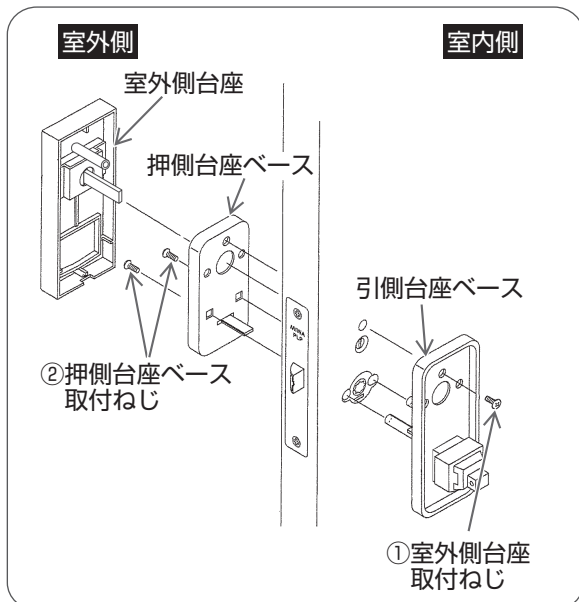
錠ケース

内開き部品の取りはずし方 2

お願い

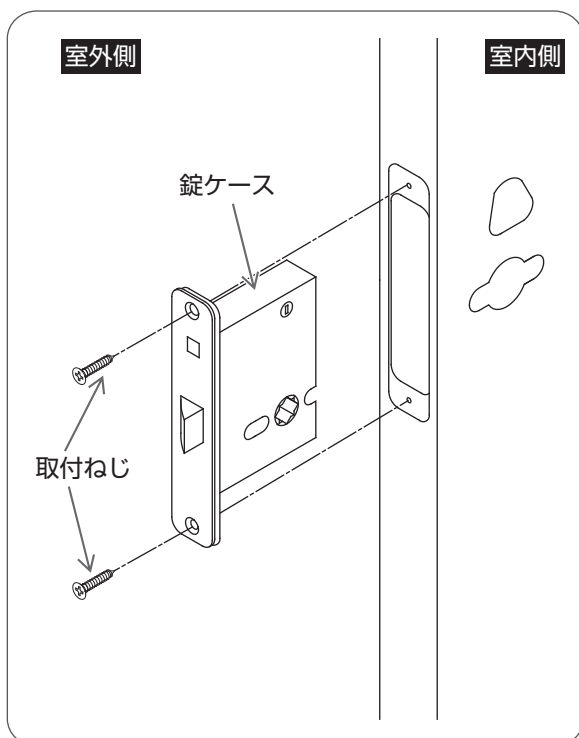
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

3 室外側台座および引・押側台座ベースの取りはずし



- ①室内側よりプラスドライバーで室外側台座取付ねじをはずし、室外側台座をはずす。
※取付ねじをはずすと、室外側台座がはずれます。落下にご注意ください。
※取りはずした室外側台座および取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。
- ②室外側よりプラスドライバーで押側台座ベース取付ねじをはずし、押側台座ベースおよび引側台座ベースをはずす。
※取付ねじをはずすと、引側台座ベースがはずれます。落下にご注意ください。
※取りはずした押側および引側台座ベース、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

4 錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースをはずす。

※内開き部品の取り付け方は8～10ページをご覧ください。

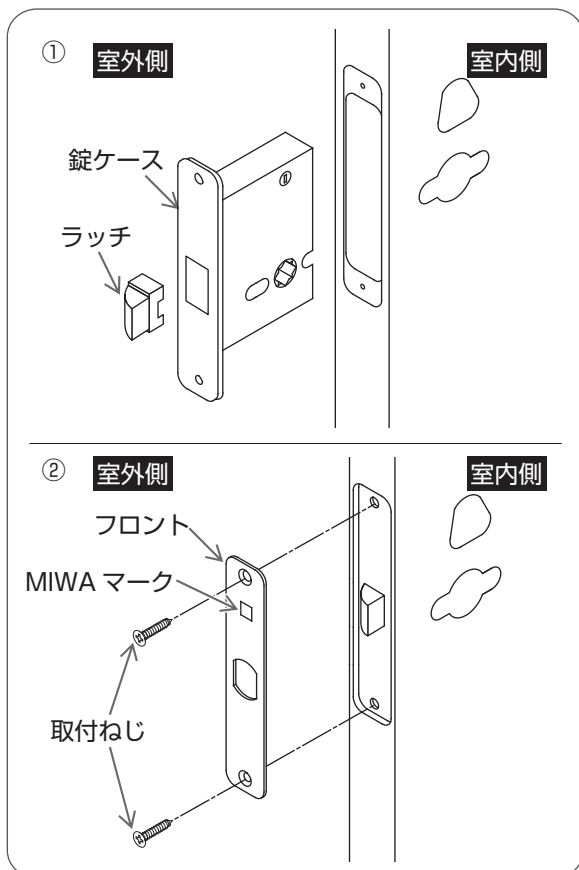
錠ケース

内開き部品の取り付け方 1

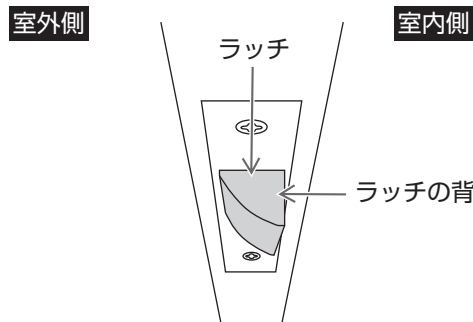
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 錠ケースの取り付け



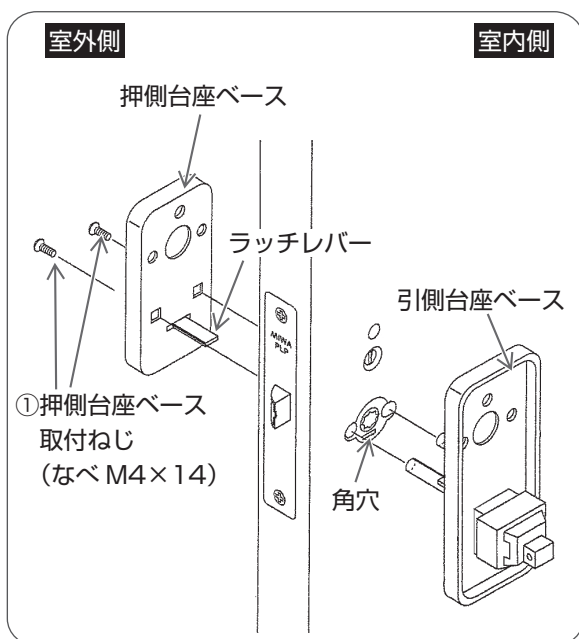
①錠ケースを取付穴に差し込み、ラッチの背(フラットの面)を室内側に向けて差し込む。



※上から見た図

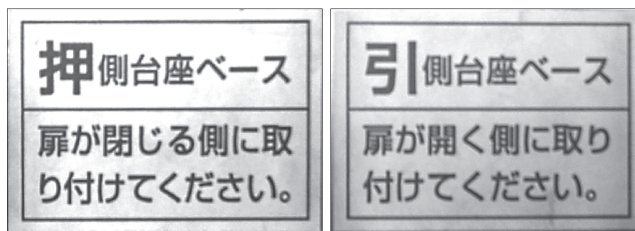
②フロントの MIWA マークが上側になるように合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

2 室外側台座および引・押側台座ベースの取り付け



室内側より引側台座ベース、室外側より押側台座ベースを錠ケースに差し込み、室外側よりプラスドライバーで押側台座ベース取付ねじをしめる。

※台座ベースにはそれぞれ押側および引側のシールが貼られています。確認のうえ取り付けしてください。



※差し込んだ際、引側台座ベースおよび押側台座ベース裏面のラッチレバーが、錠ケースの角穴に差し込まれるようにセットしてください。

※引側台座ベースおよび押側台座ベースはドアに対して平行に取り付けてください。

※内開き部品の取りはずし方は6～7ページをご覧ください。

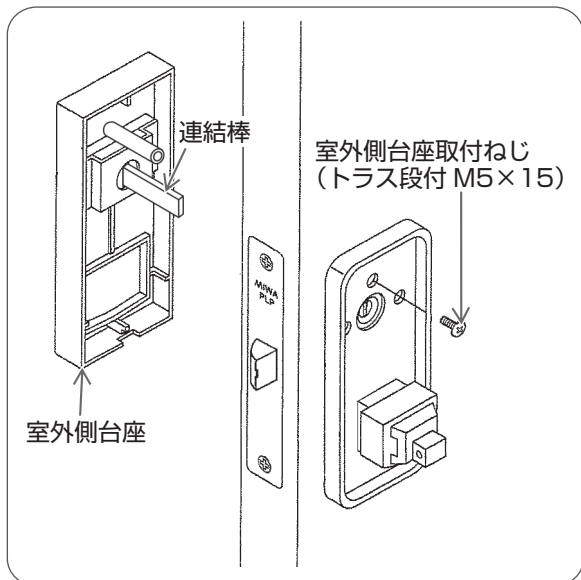
錠ケース

内開き部品の取り付け方 2

お願い

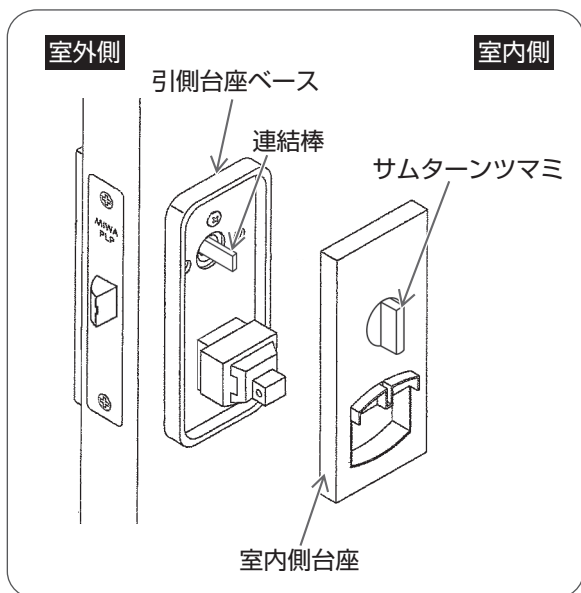
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

3 室外側台座の取り付け



室外側より室外側台座の連結棒を縦にして錠ケースの縦溝に差し込みながら押側台座ベースに取り付け、室内側よりプラスドライバーで室外側台座取付ねじをしめる。

4 室内側台座の取り付け



室内側より室内側台座を引側台座ベースに取り付ける。

※室外側台座の連結棒にサムターンツマミ裏面の穴を合わせてください。

※サムターンツマミの動きを確認し、動きが重い場合は、室内側台座をマイナスドライバーではずし、取付ねじのしめつけを調整してください。

※空錠の場合、サムターンツマミはありません。

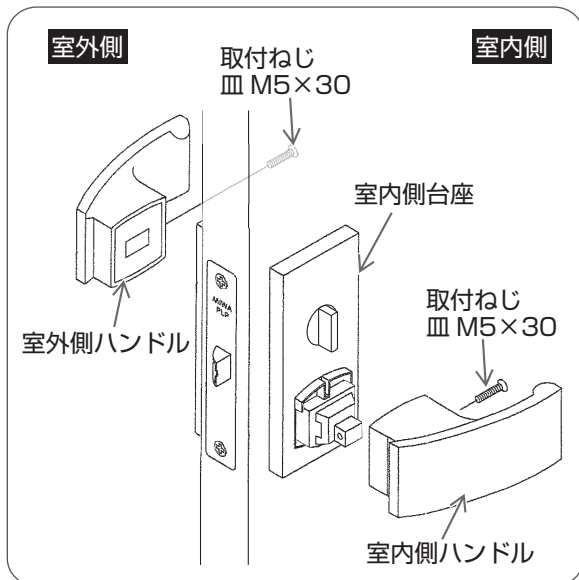
錠ケース

内開き部品の取り付け方 3

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

5 ハンドルの取り付け



室内側より室内側ハンドル、室外側より室外側ハンドルをそれぞれの台座に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ ハンドルを動かしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ シリンダー付の場合、錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ サムターン付の場合、サムターンツマミをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじのしめつけを調整してください。

※内開き部品の取りはずし方は6～7ページをご覧ください。